

# 活動報告

平成 29 年 8 月～平成 30 年 2 月

末吉の活動は地元の方々や  
関係者各位のご尽力により  
支えられております



渡良瀬橋に期間限定で行灯を設置



公共施設ミニ講座を全公民館で実施



梁田小東の若宮用水路に U 字溝敷設



第 4 回市政報告会開催（市民プラザ）



市議会だよりに関する市民アンケート

# 足利にスポーツ少年団創設

平成 27 年 9 月議会において創設を訴えさせていただいた「スポーツ少年団」が、平成 30 年 4 月に創設されました。

スポーツ少年団は団員数約 70 万人を誇る、日本最大の少年スポーツ団体です。県内では足利市にだけ無く、市内の子ども達の大会出場機会損失や、指導者体制の不備、優秀な選手の流出等の問題を抱えていました。長年にわたり複数の先輩・同僚議員が創設を提言して参りましたが、なかなか実現しませんでした。多くの関係者の皆様のご理解と、ご協力のもと創設を実現できたことは大変喜ばしいことです。



▲詳細

## 議会インターネット中継導入

議会インターネット中継等事業費が計上された「平成 30 年度一般会計予算案」が可決されました。多くの議員が訴え、私も議員になる以前から提言してきた案件でしたので、大変うれしく思います。なるべく多くの方に、簡単に議会に触れられるようにする必要がありました。これにより録画での視聴が可能になります。環境が整い次第導入予定ですので、ぜひ足利市議会ホームページよりご覧ください。



## 関東若手市議会議員の会副会長就任

私が加入している『関東若手市議会議員の会』で、平成 29 年 9 月から副会長を仰せつかることになりました。関東の各県で持ち回りとは言え、会員約 200 名の組織で、市議会議員が参加する研修などを企画していく重要な役をいただき、大変身の引き締まる思いです。



関東若手市議会議員の会公式研修（鹿沼市）



新駅視察（東武ワールドスクウェア駅）



執筆活動



鎧年越しに参加

## 平成 29 年 9 月議会 一般質問（平成 29 年 9 月 11 日）

### J R 両毛線新駅と公共交通・渋滞緩和策

【末吉】 渋滞緩和を実現するには、交差点の改良、パーク・アンド・ライドの導入、またそのための広告宣伝、周遊パック・チケットの開発、まちなか駐車場の活用など様々な対策を、新駅開業に合わせスピーディーに実施すべき。

【市長】 パークアンドライドは渋滞緩和の柱になる。スピードにやれることをやり、新駅の効果を地元に実感してもえる対応をする。

【末吉】 栗田美術館、迫間自然観察公園、大小山など周辺観光スポットへの回遊性向上ため、二次交通を検討すべき。

【都市建設部長】 新駅周辺の整備計画を検討する中で、効果的な施策を今後検討する。

#### ＜末吉の主張＞

新駅整備の目的で、市民からもっとも注目されているのが渋滞緩和。結果を出すためにあらゆる対策をスピーディーに実施すべき。同時に更なる駅の活用についても議論が必要。

### まちづくりと景観行政

【末吉】 景観重点地区指定と地域の意識高揚を機に、加速度的に魅力ある景観形成を進めるため、「まちなみ修景補助事業」の見直しが必要では。

【都市建設部長】 地域の皆様を後押しする意味からも、今後補助制度の見直しを検討する必要がある。

【末吉】 景観重点地区指定には、地域住民の意識啓発と、みずから考え行動する力を持つことが重要。地域の方々の景観に対する意識をどのように分析しているか。

【都市建設部長】 地域の方々は、自分たちのまちに誇りを持ち、景観に関しても高い見識を持っている。

#### ＜末吉の主張＞

歴史ある魅力的まちなみを形成するため、大日・足利学校周辺の景観重点地区指定を地域と共に推進すべき。拠点施設整備や空き家対策として景観重要建造物等の指定も検討すべき。



▲詳細

## 平成 29 年 12 月議会 一般質問（平成 29 年 12 月 13 日）

### 子育て環境の改善

～こども医療費助成・親との近居・同居の推奨～

【末吉】 中学校 3 年までのこども医療費の現物給付拡大については、会派を超えて主張している。私も平成 27 年 9 月議会で一般質問をした。それから今に至る約 2 年間で、国の医療費助成へのペナルティの一部廃止決定や、県内各自治体の助成拡大などの動きがみられた。持続可能な制度とするため、家庭医療を勉強する機会を増やすなど医療費削減の施策とセットで考え、検討すべきではないか。

【市長】 コンビニ受診の懸念に対して、家庭医療の教育とセットでやるということは大変いい提案だと思う。これから議論の中で検討していきたいと思う。

【末吉】 親世帯との近居・同居の推奨は子育て世代の定住や、合計特殊出生率向上に有効と考えられている。共働き世帯・核家族の増加と共に、子育てを担う親の負担は増大している。それを補ってくれる頼りになる存在は何といつても家族である。子育て世代の負担を軽減し、出生率を上げ、人口減少に歯止めをかけるためにも、本市において親世帯との近居・同居を推奨すべきと考えるがどうか。

【市長】 子育て環境の充実や高齢者の孤立防止の観点からも有意義な居住形態の一つであると認識している。難しい側面もあるので、近居・同居にとらわれず取り組んでいく。

### 投票率の改善対策

【末吉】 福井市では 6 力所の商業施設に期日前投票所を設置したところ、49.33% の投票率が 53.18% と大幅に改善した。また、イオン栃木店に設置した栃木市でも投票率が 3.47 p 増加した。既存の期日前投票所のあり方と商業施設への期日前投票所設置を包括的に議論すべきではないか。

【行政委員会事務局長】 課題も考えられるが、県内の実施例もあるので、これらを参考にしながら検討したい。

#### ＜末吉の主張＞

全国で成果をあげている商業施設への期日前投票所の設置を、足利市でも実現すべき。投票率向上に繋がり、市民の利便性も向上する。



▲詳細

◆ 他にも公共施設の屋根貸出し事業、水辺にぎわいと新たな価値を生み出す渡良瀬川の活用、田崎草雲と文化行政について質問をしました。→田崎草雲のこども向けパンフレット作成

▶ 詳しくはホームページの議事録をご覧ください